

明治大学 2020 年度【春期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	北京大学オンラインプログラム
所 属	文学部 史学地理学科 アジア史専攻 2年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)	
<p>授業では中国語と英語で教科書の単語や文法のみでなくそれらに関連する中国文化平日毎日行や辞書には載っていないような言い回しを習いました。1つの単元が勉強し終わると授業内で習った単語と表現を使った作文課題と小テストが実施されるため、中国語の表現をたくさん覚えただけではなく文章を書く力も鍛えることができました。授業では、毎回テーマに沿って軽くディスカッションする時間があり、また先生からランダムで指名されて問題に答える必要があったため、即座に知っている単語と文法を最大限に活用して自分の意見を伝えるという力が身に付きました。最初は中国語を聞くのも話すのにも苦労しましたが、最後の2週間はジョークを聞き取れることができ、また自分から積極的に発言できるようになりました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、授業時間以外の活動について、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)	
<p>プログラム期間中に中華料理、中国の都市、中国の祝日、中国のテレビドラマに関する有志のディスカッション授業があり、毎回自分でお題を決めパワーポイントを作成し、授業内で発表を行いました。私はこの準備のために「百度百科」などの中国のサイトを多く参考したため、中国語で検索して中国語で理解するという力が身に付きました。また、今までわからない単語はただ辞書を引いて日本語訳を確認することしかしてこなかったのですが、中国のウェブサイトを用い中国語で検索し、それに関する写真や動画などを視覚的に取り入れることは新しい単語の定着に大きな効果をもたらすと気づくことができました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)	
<p>メリットとしてはビザなどの複雑な手続きがなかったことと現地での生活費や滞在費がかからなかったため費用が例年よりも手頃だったことがあげられます。私は費用の面で海外留学をあきらめていたため、今回オンライン上とはいえども中国最高峰の北京大学の授業に参加できたことは非常に良い経験となりました。デメリットとしては、授業以外で先生や他の先生たちと交流できなかった点があげられます。微信を使ってあいさつ程度のコミュニケーションは図りましたが、仲を深めることはできませんでした。また、友達もおらずひとり自室で復習や宿題をしていたため勉強に対するモチベーション維持も非常に難しかったです。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)	
<p>参加前は毎日たくさん勉強するだけでなく、中国語の動画を観るなどして中国語漬けの1か月を過ごすことで急激な上達を目指そうと意気込んでいました。もちろん、中国語力が先月と比べ成長したのは事実ですが、実際には途中でモチベーションに維持に挫折してしまったため期待していた結果は残せませんでした。今後は一緒に中国語を勉強する仲間を探し、まずは5月にHSK3級、卒業するまでには6級を取得できるようにコツコツ勉強していきたいと考えています。また、明治大学には中国語ネイティブの留学生も多くいますので留学生たちに中国語で話しかけたり、日本での生活のサポートもしたりしたいと考えています。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	